

甲(かぶと)神社 横浜市青葉区鴨志田町 296

創立年代不詳であるが、戦国時代と新編武蔵風土記稿に記載されている。境内地後方続きに土手数丁あり、此地を腰巻といわれ、此所より種々の石器出土し、往古の城跡であると古老の伝承がある。御神体は石剣に似ているもので、祭神は日本武尊、社名甲神社と称したのも、武士の尊崇が篤かったことが推察できる。

現在の社殿は大正十四年十二月一日、氏子中の寄進により改築した。爾来鴨志田町産土神として篤く崇敬されている。(「神奈川県神社誌」より)

参道には、歴史を感じる庚申塔と地神塔(左 大山道)がある。



参道



社殿



庚申塔(大山道の刻印)



地神塔(大山道の刻印)



文久の稲荷大明神



ご神木の杉